

○「健やか親子21」公式ホームページ

<http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>

(1) 「健やか親子21」第2回中間評価の実施について

「健やか親子21」は平成21年で開始から9年目を迎える。「健やか親子21」は、母子保健分野において「健康日本21」の一翼を担うという位置づけと、次世代育成支援対策の一環としての位置づけを有しているが、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画の見直し時期に併せて、平成21年度までに、「健やか親子21」の第2回目の中間評価を実施することとした。

「健やか親子21」において設定している指標等の直近値に関するデータ収集については、都道府県・市町村に対し、乳幼児健康診査における受診者へのアンケート調査の実施や、自治体における取組状況の提出等について、すでに協力を依頼しているところであるが、平成21年度当初から、調査票の配付等を開始する予定である。

第2回中間評価にご理解ご協力いただくとともに、引き続き、「健やか親子21」の一層の推進について、ご尽力をお願いしたい。

(2) 健やか親子21全国大会

今年度の全国大会は、「小さな命 みんなでサポート はぐくもう 未来の日本の主役たち」をテーマに福岡県で開催された。来年度は、「育てよう親のちから! こどもの未来!! ~私たちが今できる一步を踏み出そう~(仮)」をテーマとして、平成21年11月10日(火)~12日(木)に、静岡県(静岡市民文化会館)において開催される予定である。

(3) マタニティマークについて

「健やか親子21」の取組の一環として、妊娠・出産に関する安全性と快適性の確保を目指し、妊産婦に対する社会の理解と配慮を促すため、平成18年3月に「マタニティマーク」を発表した。

平成19年度から、各市町村において、母子健康手帳と併せてマタニティマークの配布を行ったり、マタニティマークの趣旨を普及啓発したりできるよう、地方財政上の措置を行っている。

平成20年8月に各都道府県・政令市・特別区を通じ調査したところ、取組を始めた市区町村が平成19年度よりも増加していた。

しかしながら、未だ国民への周知が十分でないとの指摘もされている。国においても啓発に取り組んでいるところであり、都道府県、市町村においても、更なるマタニティマークの周知、普及に向けた取組の推進を